

Nagoya Noh Theater
January 2017

平成29年

1月3日(火)

13:00開演(12:30開場)

※能「翁」開演後 30 分間は入退場できませんので
ご注意ください。

前売券発売11月2日(水)

ご来場の方に抽選で
素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から
抽選で10名様に能楽グッズを
プレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフ
レットに応募券[ご応募の締切は
休憩終了まで]が入っております
のでご確認ください。

能

「楊貴妃」ようきひ
シテ 久田三津子
台留(観世流)

狂言

「鬼瓦」おにがわら
シテ 松田高義
(和泉流)

能

「翁」おきな
シテ 久田勘鷗
(観世流)

名古屋能楽堂

正月特別公演



能「楊貴妃」写真提供:(公社)能楽協会



能「翁」撮影:杉浦賢次

能・狂言が描く“愛と恋”

今は亡き愛しい人に会いたいという思いは、愛する者を失った誰もが持つもの。玄宗皇帝は楊貴妃の亡魂を蓬萊の島まで尋ねさせる。そこで楊貴妃が語る「生者必滅会者定離」の理は、だから亡くした者を追い求めて嘆いてはならないと説くためのものではない。生きている者は必ず死に、出会えば別れがあることはわかっているけれども、人を恋い、人との別れを嘆く。そのような「憂き世」であっても、やはり恋しい、愛おしいという思いなのだろう。

主催

公益財団法人

名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部

名古屋能楽堂 正月特別公演

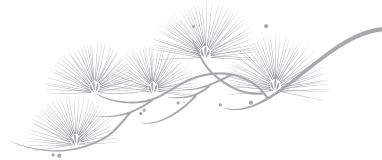


※能「翁」開演後 30 分間は入退場できませんのでご注意ください。

能 翁 (観世流)

翁 千歳
三番叟
面箱持

久田勘助
久田勘吉郎
鹿島俊裕
野口隆行



地謡

狂言後見

伊藤裕貴
吉沢 旭
本田 勲
松山 幸親

佐藤友彦
野村又三郎
山中雅志
清沢一政
梅田邦久
久保信一朗

狂言 鬼瓦 (和泉流)

シテ 大名
アト 太郎冠者

後見

松田高義
伊藤 泰
野村又三郎

能 楊貴妃 台留 (観世流)

シテ 楊貴妃の霊
ワキ 方士
アイ 所ノ者

休憩十五分

地謡

村井邦子
瀬戸洋子
伊藤裕貴
吉沢 旭

(午後四時) (〇分頃終了予定)

【イヤホンガイド】

◆能翁

日本語 米田真理 (朝日大学経営学部教授)

英語 藤江さおり (通訳ガイド)

◆能楊貴妃

日本語 大山範子 (神戸大学古典伝統研究センター非常勤研究員)

英語 藤江さおり (通訳ガイド)

都合により出演等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆能解説「翁」(おきな)

新春。切火で清められた舞台上、潔斎をすませた演者が、面箱・翁・千歳・三番叟・・・と続いて全員が登場する。

「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割。清新の気が漲る。翁は狩衣・指貫・面箱・千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂。唯、地謡などは侍烏帽子に素襖を着る。

「翁」の舞は、三部から成り立っていて、最初の千歳は「鳴るは滝の水・・・」と謡い出し、若々しく調笑とした舞。次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中で、角・脇・座前・中央で三回ずつ拍子踏を踏む。これを「天・地・人の拍子」と称する。翁と千歳の退場のあと、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を「採之段」、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。

天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。

新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

(泉 嘉夫)

◆狂言解説「鬼瓦」(おにがわら)

訴訟の件があつて長らく都に滞在していた大名。漸く落着き、目度く帰国の運びとなります。このように無事帰国できるのは、日ごろ信仰する因幡堂業師如来のご加護のおかげと、召使いの太郎冠者を連れて御礼に参上します。国元にもこれに似た業師如来を安置しようと考えた大名は、堂を建立するために外観の造りを見学している・・・。

本年度の年間テーマに沿う狂言ラインナップのうち、女役が登場しない演目も敢えて取り上げてみました。故郷を懐かしむ大名の人間味が表れ、短編ながらもほのぼのと描かれた狂言の名作です。また二人で声を合わせて笑い飛ばす『笑い留め』の手法で、新年の飲みと重ね目度く納めます。

劇中登場する因幡堂は、この「鬼瓦」のほか「因幡堂」「仏師」「六地藏」「金津地蔵」など数多くの演目に登場します。京都市下京区に現存する平等寺というお寺で、癌が不治の病と思われていた時代、因幡業師にすがられた方も多かったため、特に落封じの業師如来として今も信仰されています。(井上菊次郎)

◆能解説「楊貴妃」台留(ようきひ)

唐の玄宗皇帝は楊貴妃と別れてから、悲嘆の日々を送っている。ある日、玄宗に仕える方士(ワキ・霊の世界と往々来する能力を持った男)が玄宗の命によって、今は亡き楊貴妃の魂魄の在り処を探すために蓬萊宮に来てみると、壮麗な宮殿が立ち並ぶなか、太真殿という宮で、楊貴妃の亡魂(シテ)をさがし当てる。妃は寂寞たる眼のうちに涙を浮かべ、その様子は、梨花一枝、雨を帯びたるよそおいで、世のいかなる美人も及ばぬ美しさであった。妃は方士から、玄宗の楊貴妃が失ったことによる悲嘆の様子を聞いて、一層の懐旧の情を深め、玄宗への形見として玉の簪を方士にわたす。方士は楊貴妃が玄宗と交わした陸言が何よりの妃に会えた証拠であるから、それを聞かせて欲しいと言った。その言葉は「天にあらば願わくは比翼の鳥とならん、地にあらば願わくは連理の枝とならん」であった。そうして妃は、玄宗との日々を回想して舞を舞う。舞い終えて妃は、唐の都に帰っていく方士を懐旧の情と共に見送るのであった。

作者は、角川学芸出版の『元雅と禅竹』によれば「文獻上の明証はないが、文辞・作風から金春禅竹の作と思われる」とある。確かに最も基本的な性格で「定家」などと共通した精神性に充ちた作品と私も思っている。

このような能でも簡素な作り物の宮が使われる。又その「作り物」は日本の神道の宮として用いる場合と九〇度向きを変えて横向きに置かれる。屋根の向きが変わるので「この世」と異なった意味合いを含めている。能らしい簡素な象徴性とも云つていい出来よう。面白い思ひつきが定着したもののか。もう一つ単純な話、一般に楊貴妃というと豊満、艶麗な女性が頭に浮かぶけれども、この能における楊貴妃は、その亡魂が過去の日々を追想する孤独な淋しい楊貴妃なのである。

(泉 嘉夫)

正月特別公演事前学習講座

12月17日(土) 14:00~16:00

[受講チケット] 正月特別公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「翁」楊貴妃のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 平成28年11月2日(水)

	指 定 Reserved	自 由 Non reserved plus ¥500, on the day	
		一 般 Adult	学 生 Student under 25 years old
前 売 Advance sale	5,200円	4,100円	2,100円

*学生券は25歳以下を対象とします。

*当日券は自由席のみ500円増となります。

*事業団友の会会員・障がい者手帳をお持ちの方は1割引(名古屋能楽堂・名古屋市文化振興事業団チケットガイド・事業団施設窓口の前売のみ)

*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はお断りください。*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00 / チケット郵送可)

*名古屋文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

中京テレビ事業 / TEL.052-957-3333

栄プレテケ92 / TEL.052-953-0777

チケットぴあ / TEL.0570-02-9999 (Pコード 455-059)

*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。

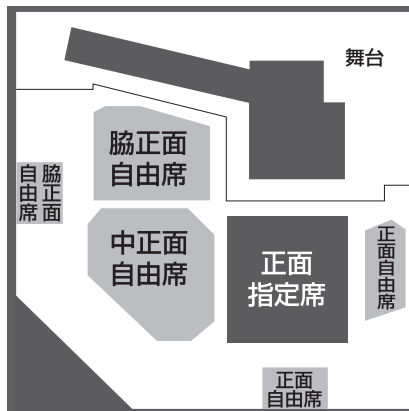
*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語／英語) Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset(Japanese/English)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088 FAX.052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp

このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



*地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい!

「友の会」会員募集中!

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385